

平成 29 年度 第 2 回 兵庫区地域包括支援センター運営協議会議事録
(公開用)

1 日 時 平成 29 年 12 月 7 日 (木) 午後 2 時 00 分～午後 4 時 20 分

2 場 所 兵庫区役所別館 4 階講堂

3 運営協議会議事

1) 開 会

保健福祉部長挨拶

委員紹介

2) 議題

(1) あんしんすこやかセンターの運営状況報告 (資料 1)

(2) 兵庫区における認知症高齢者対策 (資料 2)

(3) 介護予防ケアマネジメント対象者が要介護状態となった場合の取り扱いについて
ー指定居宅介護支援事業所の選定における確認書の受理状況ー (資料 3)

(4) 平成 29 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告 (資料 4)

以下非公開

(5) 地域包括ケア充実のための事業目標 (進捗状況) について (資料 5)

(6) 特定事業所へのサービス集中度について (資料 6)

3) 閉 会

【質疑応答・意見】

議題 (2) 「兵庫区における認知症高齢者対策」 に対して

- ・ 初期の場合、認知症とわかりにくい人もいる。また、認知症だと思って声をかけると、本人のプライドを傷つけてしまうことがあるので対応が難しい。
- ・ 昨年度に実施した際は、婦人会の方が認知症高齢者役をされたことで、地域の方にも注目してもらえた。声かけ訓練で積極的な参加を促すためには、認知症高齢者役の選定が重要である。
- ・ 日頃接する中で、ADLの低下や認知機能の低下などの変化を感じることがあり、家族やあんしんすこやかセンターなどへ連絡している。特に、認知症などは本人の自覚が乏しく、治療に繋がらない場合が多い。
- ・ 気になる人を主治医や関係機関などにフィードバックしていただくことで、地域の見守りにつないでいくことが大切である。

【事務局】今年度からは全市で声かけ訓練が実施されている。

ハートンあんしん登録制度は、兵庫区独自の制度で、元気なうちからキーホルダーを持ち、緊急時など必要時早急に対応できるような仕組みである。今後も、幅広く周知できるようにしていきたい。

議題（４）「平成 29 年度第 1 回神戸市地域包括支援センター運営協議会の報告」
に対して

- ・ 施設から在宅にもどる対象者についても、日頃から施設とあんしんすこやかセンター等との地域連携が重要だと感じている。施設でリハビリを行っても、すぐに機能が改善することはないため、自宅にもどった後の生活を心配に思うことがある。
- ・ 運営協議会は各区で行われているが繋がりが弱い。市・区運営協議会の存在意義を持たせるためには、各委員の所属団体で意見を集約し、共通の問題意識をもって課題の検討を行うことが必要ではないかと感じる。
- ・ オレンジリングを持つ認知症サポーターを増やすなど、入り口の準備が必要。

【事務局】区運営協議会では市運営協議会の一部しか報告できていないが、区運営協議会の意見を市へ報告し、市運営協議会を開催している。本日の意見も市に報告し、検討していきたい。